

第59次南極地域観測隊(JARE59)

設営：輸送オペレーションと南極での夏期設営作業

昭和基地は、観測の拠点であると同時に隊員の生活のベースとなる場所です。昭和基地を維持・運営していくためには、観測と生活を支えるための物資の供給がかかせません。夏期だけでなく冬期も観測を続けるためには、1年分の燃料をはじめ、越冬隊が使う食料や観測物資など、大量の物資を運び込む必要があります。また、老朽化した施設や設備の更新、新しい建物の建設など、短い夏の間にはかできない作業がたくさんあります。

貨油輸送

「しらせ」のタンクに入れて運ばれてきた燃料は昭和基地の燃料タンクにホースで送られる



氷上輸送

「しらせ」から降ろした大型物資を橇に載せて雪上車で海氷上を運ぶ



空輸

「しらせ」搭載の大型ヘリコプターによる空輸



夏期設営作業

第57次隊から建設を開始した「基本観測棟」の2階部分と外階段を建設し、3年がかりの工事を仕上げます。越冬中に内装を仕上げ、来夏に設備を設置して完成する見込みです。

昨年までに建設した1階部分



第59次隊で建設する2階部分
(国内での仮組時の写真)

